

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる

藤原 敏行 朝臣

残暑が厳しいと思っていたのが9月上旬。大型台風が接近してきたのが中旬。朝晩の冷え込みが強まり草木に露が降りるようになった下旬。季節の移ろいを早く感じる今日この頃、皆様はどのようにお過ごしでしょうか？ほたるホームとよた介護職員のY・Sです。

この記事を書いている現在我が家は稲刈りの真っ最中です。今年はウンカの被害が甚大で早物は皆稲が倒れてしまい収穫がほぼ望めないという有様です。遅物にはまだついていないのですが天候次第で刈る時期が遅れるとこちらもどのようになるかわからない状況です。実りの秋となることを切に願っているところです。



時候のあいさつが終わったところで少しお仕事のことについて。

高齢者の方々が話す言葉には今ではあまり使われない言葉や方言が含まれていることがあります。初めて耳にする言葉を後で調べて「こんな言葉があったのか」と思うことも多々あります。正に温故知新—<sup>ふる</sup>故きを<sup>たず</sup>温ねて新しきを知る。読書家であると自負していたのですが、まだまだ知らない言葉があるのだと感じる今日この頃です。

新しい言葉を覚えるということは新しい概念を覚えるということだと思います。そう考えると語学を学ぶことに対する拒否感が薄れ楽しくなってきませんか？